

ご使用に際して、この説明文書を必ずお読み下さい。
また、必要なときに読めるように大切に保管して下さい。

第②類医薬品

発熱時の解熱、のどの痛み、頭痛、歯痛

パインダームIP錠[®] 解熱鎮痛薬

パインダームIP錠は、痛みや熱の発生時からからだの中に生成するプロスタグランジンという物質を抑制するはたらきのある『イブプロフェン』を主成分とした解熱鎮痛薬です。頭痛、歯痛、生理痛、発熱などいろいろな症状に対し、すばやい効果を発揮し、良く効きます。

[使用上のご注意]

してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなります)

1. 次の人は服用しないで下さい。

- (1) 本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人。
- (2) 本剤又は他の解熱鎮痛薬、かぜ薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人。
- (3) 15才未満の小児。
- (4) 出産予定日12週以内の妊婦。

2. 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないで下さい。

他の解熱鎮痛薬、かぜ薬、鎮静薬

3. 服用時は、飲酒をしないで下さい。

4. 長期連用しないで下さい。



相談すること

1. 次の人は、服用前に医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談して下さい。

- (1) 医師又は歯科医師の治療を受けている人。
- (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。
- (3) 授乳中の人。
- (4) 高齢者。
- (5) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。
- (6) 次の診断を受けた人。
心臓病、腎臓病、肝臓病、全身性エリテマトーデス、混合性結合組織病
- (7) 次の病気にかかったことのある人。
胃・十二指腸潰瘍、潰瘍性大腸炎、クローン氏病

2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性がありますので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者にご相談下さい。

関係部位	症状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ、青あざができる
消化器	吐き気・嘔吐、食欲不振、胃痛、胃部不快感、口内炎、胸やけ、胃もたれ、胃腸出血、腹痛、下痢、血便
精神神経系	めまい
循環器	動悸
呼吸器	息切れ
その他	目のかすみ、耳なり、むくみ、鼻血、歯ぐきの出血、出血が止まりにくい、出血、背中痛み、過度の体温低下、からだがだるい

裏面も必ずお読みください

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けて下さい。

症状の名称	症 状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。
皮膚粘膜眼症候群、 (スティーブンス・ジョンソン症候群) 中毒性表皮壊死融解症	高熱、目の充血、目やに、唇のただれ、のどの痛み、皮膚の広範囲の発疹・発赤等が持続したり、急激に悪化する。
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。
腎障害	発熱、発疹、尿量の減少、全身のむくみ、全身のだるさ、関節痛(節々が痛む)、下痢等があらわれる。
無菌性髄膜炎	首すじのつっぱりを伴った激しい頭痛、発熱、吐き気・嘔吐等があらわれる。 (このような症状は、特に全身性エリテマトーデス又は混合性結合組織病の治療を受けている人で多く報告されている。)
ぜんそく	息をすときゼーゼー、ヒューヒューと鳴る、息苦しい等があらわれる。
再生不良性貧血	青あざ、鼻血、歯ぐきの出血、発熱、皮膚や粘膜が青白くみえる、疲労感、動悸、息切れ、気分が悪くなりくらっとする、血尿等があらわれる。
無顆粒球症	突然の高熱、さむけ、のどの痛み等があらわれる。

3. 服用後、次の症状があらわれることがありますので、このような症状の持続又は増強がみられた場合には、服用を中止し、医師、薬剤師又は登録販売者にご相談下さい。

便秘

4. 5～6回服用しても症状がよならない場合は服用を中止し、この文書を持って医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者にご相談下さい。

== 効能・効果 ==

- (1) 頭痛・歯痛・抜歯後の疼痛・咽喉痛・耳痛・腰痛・関節痛・筋肉痛・肩こり痛・神経痛・打撲痛・骨折痛・ねんざ痛・月経痛(生理痛)・外傷痛の鎮痛
- (2) 悪寒・発熱時の解熱

== 用法・用量 ==

年 令	1回量
15才以上	2錠
15才未満	服用しないこと

左記1回量を、1日3回を限度とし、なるべく空腹時をさけて服用して下さい。
服用間隔は4時間以上おいて下さい。

- 用法及び用量をお守り下さい。
- 15歳未満のお子様には服用させないで下さい。
- 錠剤の取り出し方

右図のように錠剤の入っているPTPシートの凸部を指先で強く押し、裏面のアルミ箔を破り、取り出して服用して下さい。
(誤ってそのままのみこんだりすると、食道粘膜に突き刺さるなど思わぬ事故につながります。)



== 成分・分量 ==

本品1日量(6錠中)

イブプロフェン……………450mg

添加物として、セルロース、ケイ酸Al、ヒドロキシプロピルスターチ、ステアリン酸Mg、タルクを含有します。

== 保管・取扱上の注意 ==

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管して下さい。
- (2) お子さまの手の届かない所に保管して下さい。
- (3) 他の容器に入れ替えないで下さい。(誤用の原因になったり、品質が変わることがあります。)
- (4) 使用期限の過ぎた製品は服用しないで下さい。

== 消費者ご相談窓口 ==

本剤をご使用になり、何かお気づきの点がございましたら下記までご連絡いただきますようお願い申し上げます。

製造販売元 **株式会社 廣昌堂** 富山県射水市水戸田2841

お客様相談窓口：072-331-0417

受 付 時 間：9時から17時まで(土、日、祝日を除く)

発売元 **株式会社 大木** 東京都文京区音羽2丁目1-4